

## 暖フィル施工前にご一読ください。

床暖房は仕上材の下に敷設されますので、  
施工後のトラブルを避ける為にも、  
良くご理解の上、施工に取りかかって下さい。

疑問に感じたことを放置したままですと、  
後々問題を起こす原因になります。  
疑問点は、販売店・製造元へお問合せ下さい。

株式会社レリアブル 南営業所  
〒232-0003 横浜市南区西中町1丁目2番地  
TEL:045-231-6711 FAX:045-231-6055

### (要点)

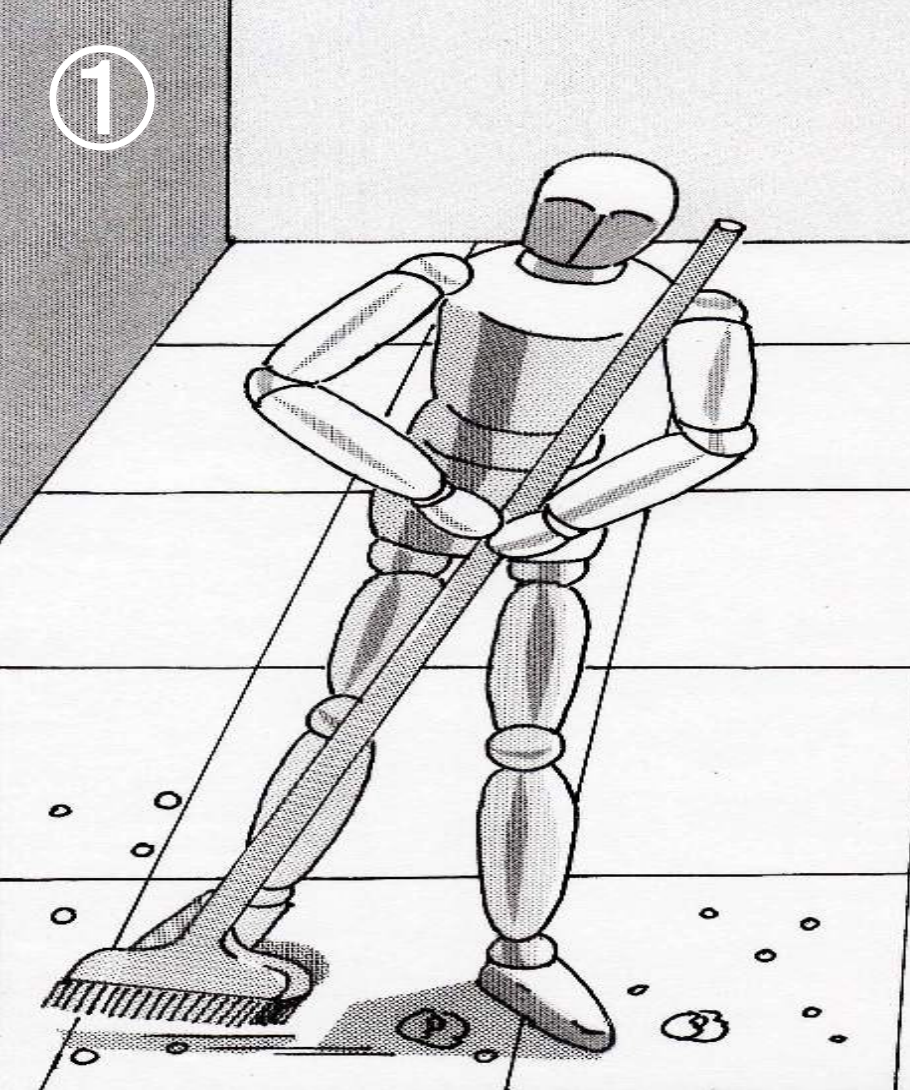
- ①下地よりクギ・ビス等の頭が出ていないこと。
- ②墨出しでは、暖フィルの赤線上に「実」がくる様にする。  
(1尺×6尺フローリングの場合)
- ③センサーの設置をすること。
- ④仕上材を、クギ打ち可の場所に打つこと。

暖フィルⅡのヒーター線、  
センサー線を設置後、  
暖フィルⅡは、床下地と  
床暖房対応接着剤で全面接着  
して下さい。





①



下地が乾燥状態であることを  
確認して下さい。  
(下地が湿っている場合は  
暖フィルを敷設しないで下さい。)



暖フィル敷設場所を清掃し  
クギの頭、ビスの頭が  
飛出していないか確認  
して下さい。

又、金属片が残っていた  
場合は取り除いて下さい。

金属片の残り・クギの頭等が下地より飛び出していると  
後々、(暖フィル使用中)金属片の残りが暖フィルに  
刺さったり、クギの頭・ビスの頭が暖フィルを突き破つ  
たりして、絶縁不良状態を起こす恐れがあります。  
しっかりと注意して下さい。



②



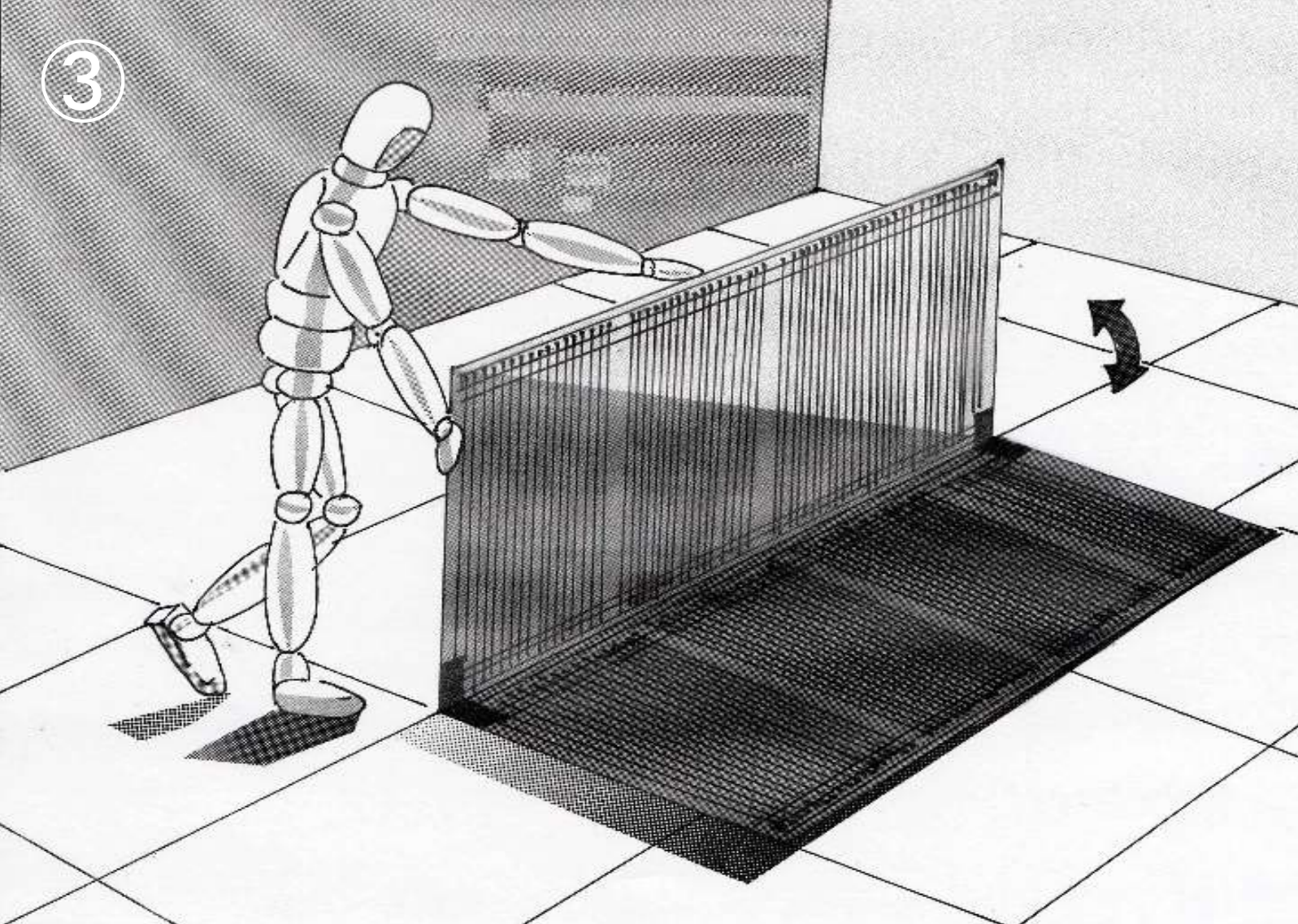
## 重要事項

万一、下地より  
クギ・ビスの頭が飛び出していた場合は  
しっかりと下地に打込むか、ねじ込んで  
下地より飛出さない様にして下さい。





③



暖フィルを敷設位置に広げ  
暖フィルの表面に記載されている  
注意事項を確認して下さい。

④



暖フィル敷設位置に  
墨出しをして下さい。  
暖フィル上にくるフローリングの  
「実」が赤線上にくる様にすることで  
釘打ち不可部分への釘打ちが  
避けやすくなります。  
(1尺幅フローラーの場合)



赤線上に「実」を合わせる様に  
墨出しをする。



⑤

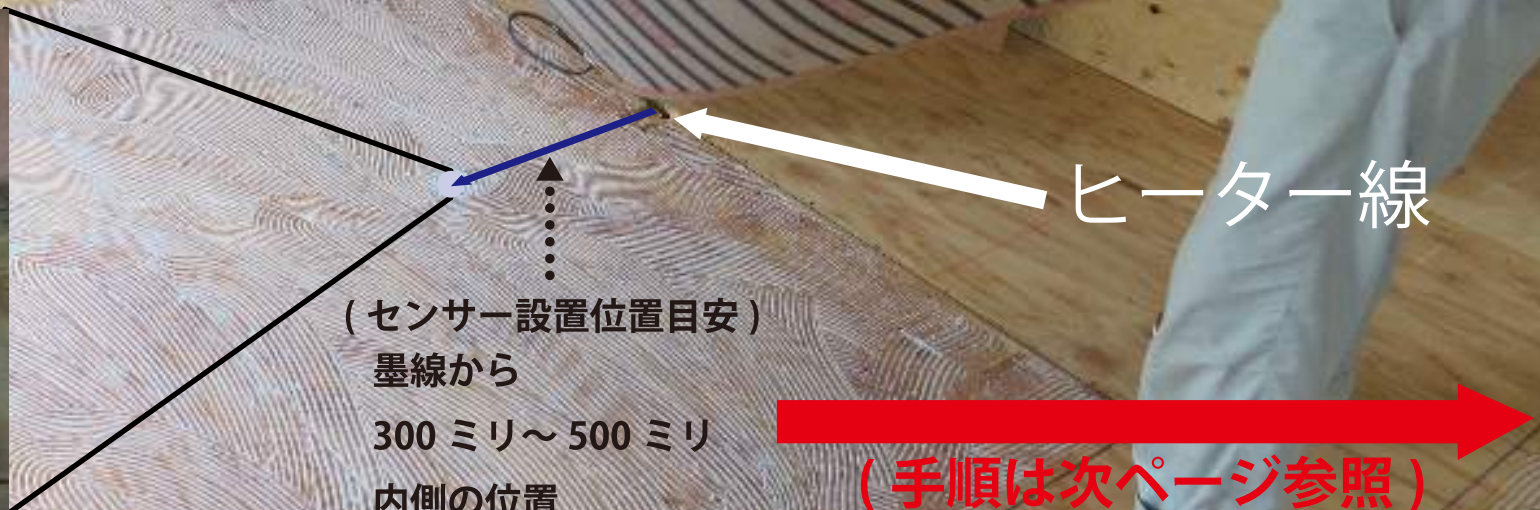
下地に穴をあけ  
ヒーター線とセンサー線を  
床下に落とす。

コントローラーが二面用 (NC-2) の場合、  
センサーは2本あります。

A面用に1本、B面用に1本です。

(例：A面用の床暖房が10セットであっても、  
1セットであっても、A面に対してセンサーは  
1本だけ設置します。

B面も同様です。)

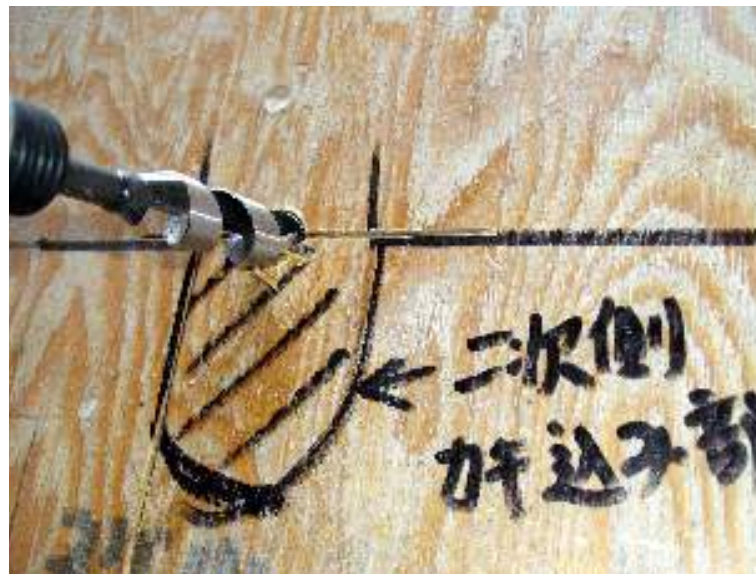




## ヒーター線の落とし込み



1, カキ込み位置を墨出しする



2, 縦、横 80 ミリ角程度の線を引き、15 ミリ～20 ミリ程度の穴をドリルであける。



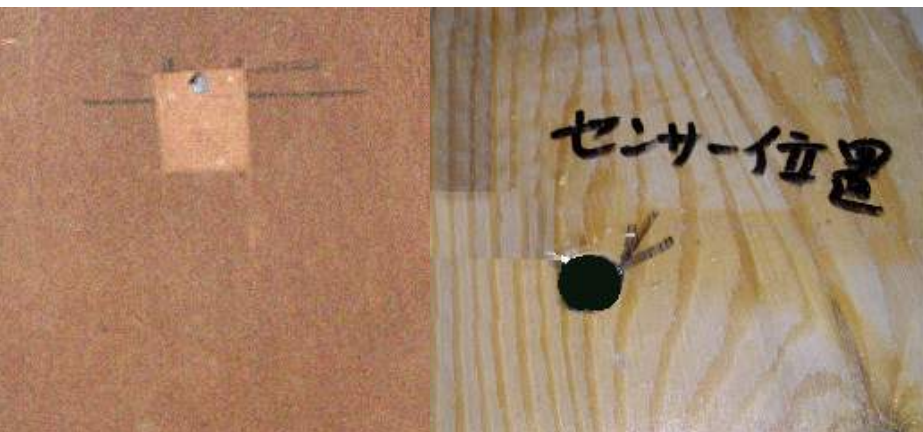
3, 縦、横 80 ミリ  
深、10 ミリ  
程度の溝を彫る。



4, コーキング部分を  
溝に落とし込みつつ  
ヒーター線を  
床下に落とす。



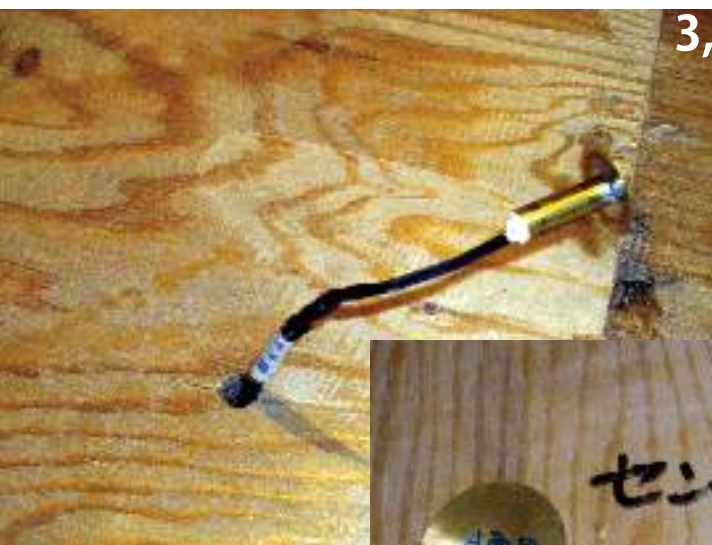
## センサー線の落とし込み



1, 墨線から300ミリ~500ミリのところにセンサー位置を決める。



2, 12ミリ~15ミリの穴をドリルであける。

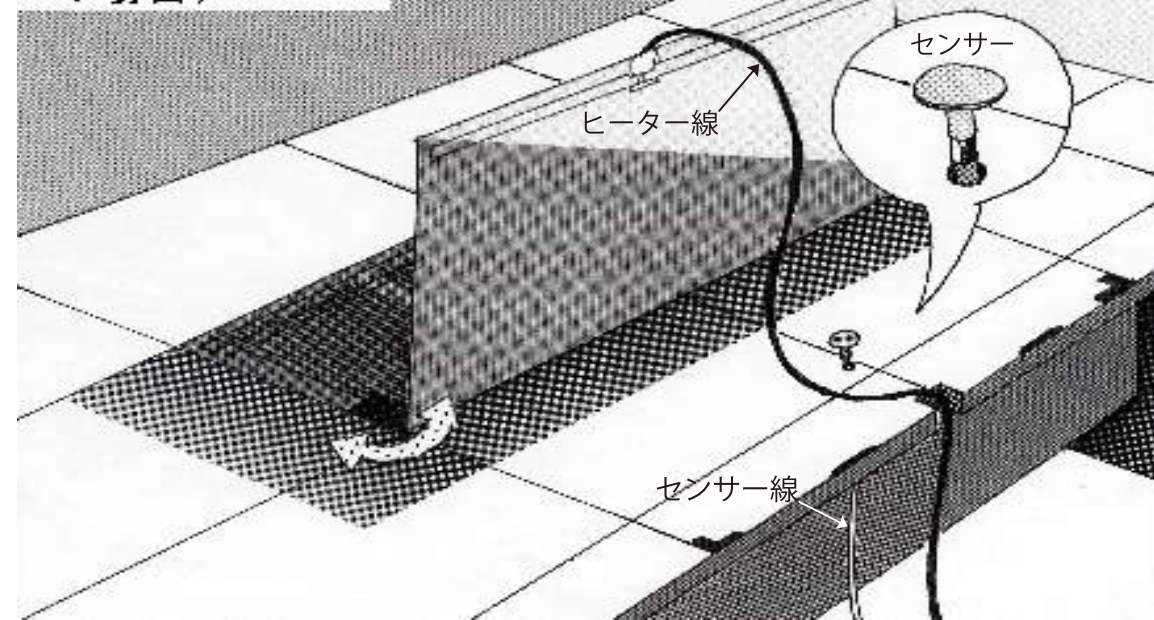


3, センサー線を、穴から床下に落とす。



暖フィルの敷設と配線  
(下地コンパネの場合)

ヒーター線と、センサー線を床下に落とした様子





⑥

暖フィルの注意書きを良く読み、  
墨出し位置へ敷設する。

### 《重要》

接着剤には、ウレタン系の床暖房対応接着材を使用して下さい。

“暖フィル”敷設位置に接着剤を塗布します。

接着剤は、ヘラ等を使って敷設位置全体へ均一に伸ばして下さい。

### (重要)

- ・下地より、ビス・クギの頭が飛び出していないか
  - ・下地に、金属片等の金属ゴミや鋭利なゴミがないか
- を、よく確認すること。

また、確認中のビス・クギ・金属ゴミ等の落下に注意すること。  
後々、暖フィルを突き破るなどして、ショートの原因になります。

### (重要)

- ・「実」が釘打ち不可部分にこないか
- よく確認のこと。



⑦

## ヒーター線、センサー線を コントローラー位置に立ち上げる

暖フィルチェッカーを、暖フィルのヒーター線につなぐ事により、仕上材施工時に万一釘打不可部分に釘が当たった場合ブザーが鳴ります。  
(絶縁不良状態です。)

施工精度を上げ  
施工後の手放れが良くなります。

「暖フィルチェッカー」は、別売りです。  
(定価20,000円)  
一度購入されますと、何度でも使用できます。

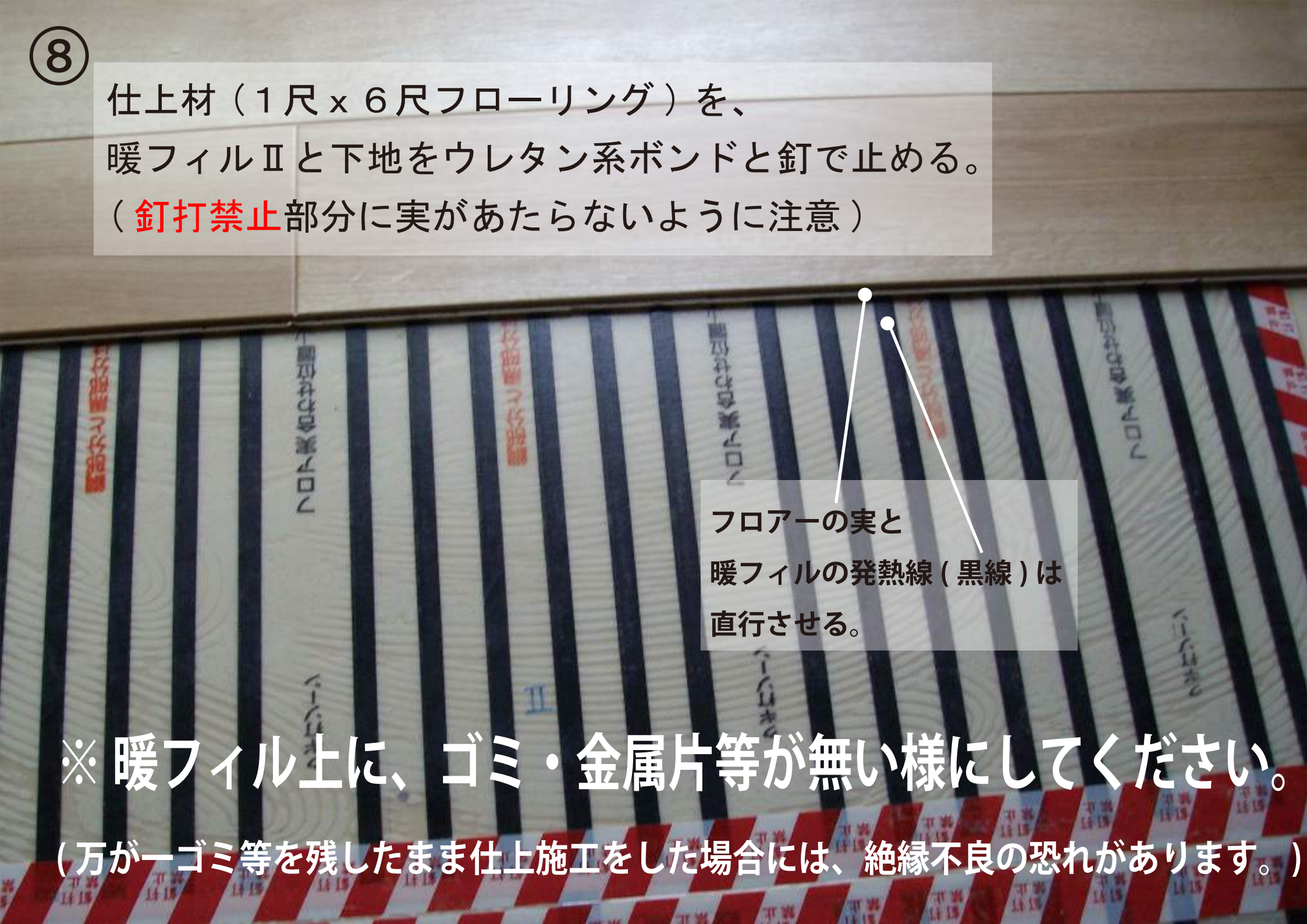
暖フィルチェッカー





⑧

仕上材（1尺×6尺フローリング）を、  
暖フィルⅡと下地をウレタン系ボンドと釘で止める。  
（**釘打禁止**部分に実があたらないように注意）



The diagram shows a cross-section of a floor assembly. At the top is a wooden floorboard. Below it is a layer of white insulation with black vertical lines. At the bottom is a red and white checkered pattern. Two white lines with dots at the end point to the black lines in the insulation layer. A text box explains that the heating line (black line) of the heating film should be straight.

フローラーの実と  
暖フィルの発熱線（黒線）は  
直行させる。

※ 暖フィル上に、ゴミ・金属片等が無い様にしてください。  
（万が一ゴミ等を残したまま仕上施工をした場合には、絶縁不良の恐れがあります。）